

平成21年度第5回定例会

日 時： 平成22年3月24日（水）午前9時30分～

場 所： 本館 講座室

- (会長) 第5回定例会を開催する。継続の「多摩市における中央図書館機能およびその整備のあり方について」の答申案は、送付した形になった。最終的な形をある程度決め、4月の定例会に館長に答申を渡したいと思う。
- (委員) 構成の案を出したが、全体的に肉付けし、いいのではないか。
- (委員) 技術的な細かい点の修正はあるが、よくできている。
- (委員) 話し合われたことが載っていて、いい答申である。
- (会長) 細かい指摘、選択する部分をつめていきたい。3ページの「**2 現在の「本館」の問題点**」で選択肢がある。どちらがいいか。
- (委員) ①が上品でいいかと思う。②は箇条書きだが、文章としてばらつきがある。
- (委員) 答申の冒頭の部分に持ってくるとなると、選択肢①がいいと思う。
- (副会長) 箇条書きにした方が、論点がわかりやすいかと思ったが、いっていることはさほどかわらない。
- (会長) 私も、①の方がいいかと思う。
- (副会長) ②に書いてあるが、「床面積が広いだけ。荷重の関係で資料が分散して置かれているので移動距離が長く使いにくい。・書庫に空調がなく資料保存に適さない劣悪環境。貴重な資料も劣化を招いている。・資料が各館に分散していて使いにくい。・調べ物が1か所ではできない」といったことは①の中には、載っていないので加えたい。
- (会長) 主体は①であるが、②の要素も加味した文章にしていく。
「**3 中央図書館はどこに**」の選択肢について、建て替えを前提か、大規模改修を視野に入れるということであるが、どうするか。
- (委員) 本質的な違いは、この本館を利用するとき、全面的な建て替えに限るのか、大幅な改修も含むのかということである。結論にも関するが、今までなかなか答申を出してきても進まない中、中央図書館の建設についてけりをつけるということを打ち出すには、全面建て替えを打ち出すのは、財政状況を考えたとき、全面建て替えでなければだめだとすると、また先延ばしになる可能性があるのではないか。実質を整えるということでは、「もしくは大幅な改修」ということは入れておいた方が、力があるのではないか。
- (委員) 全面的な建て替えを含む、もしくは大規模な改修を含むといった

表現を調整すれば、②の線でいいのではないか。

(副会長) 4 ページの 6 行目「現在の本館が使用している西落合中学校跡地を活用し」の前に「やむを得ず」をいれたい。文面は改修でいいのではないかというニュアンスが強く、ここは学校であり、図書館ではない。改修しただけでは使い心地はよくないので、①の案を出した。

(会長) 選択肢でいうと②で、表現の問題で加味していく。

(委員) 「もしくは」というと、どちらでもいいという感じがする。どうしても財政的に可能性がない場合には「最低限」といった感じか。

(副会長) この表現では、なりかねない。

(会長) ②を主体にし、タイトルを修正して方向性を明確にした表現にする。

(委員) 「そういったものと複合して「文化都市多摩ニュータウン（多摩市）」ができあがってくる。」の文章は、「多摩ニュータウンのイメージができあがってくる」という表現にした方が、文意が落ち着く。「そのようなしかけ」といった文章も、アイディアといったことばにした方がいいか。

(委員) 多摩センター駅近くがいいが、やむを得ない場合はここでもいい、更にやむを得ない場合は改修もということになっている。「そのようなしかけ」の文章だところを勧めているような気もする。「可能となる」という表現でなく「なければならない」というような努力が必要としたい。

(委員) 前の条件を満たしたら「可能となろう」といった表現はいかがか。

(副会長) この文章のかなりの部分がイメージである。これを勧めているような印象を受ける。建て替えを全面に出したいと思う。

(委員) おそらく財政的な状況を考えたとき、ここに 10 億 20 億つぎ込むことができるか。今の可能性は乏しいと思う。待たなしであるということを重視するのであれば、改修ということも言っておいた方がいいのではないか。

(委員) 選択肢の 1 行目「全面的な建て替え」を「大幅な建て替え」とするのはいかがか。

(委員) 建て替えと改修は違うものである。

(委員) ①と②は明確な違いではない。この「改修も含む大規模な建て替え」という表現はされていない。もうひとつ、大規模な改修もして部分的に活用するという選択もある。

(会長) ②を主体としながら、誤解を招くような表現を修正し、建て替えに向けた方向性を明確にした文章にしていく。

9 ページの「学校の連携」について、学校について触れるかどうかということである。

(副会長) 学校図書館の開放はよく課題になるが、まだ書かない方がいいと思う。

(委員) 学校図書館の開放については、学校については触れているので、いれなくてもいいのではないか。

(委員) 触れずにという線でいいと思う。

(委員) 中央図書館の動きとして入れてもいいのかと思う。

(会長) 表現的に少し入れることができればいいのかと思うが。

(委員) 学校図書館の開放については、中央図書館をつくる答申として、逸脱し、学校に求めることとなってしまうので、触れなくともいいのかと思う。

(副会長) 10 ページの一番上の部分に職員について書かれているが、「(3) 地域コミュニティの中核として」の柱に書かれているので、「職員の資質向上」といった別のひとつの柱として独立させたい。

(委員) ここを(4)にすればいいということか。

(副会長) 少なくとも、(3)ではない。

(委員) しかし、これは(3)でもない。

(副会長) 大事な問題なので、しっかりさせたい。

(会長) まとめの部分であるので、入れる場所も考えたい。

11 ページの選択肢についてはいかがか。

(委員) ②であるが、より明確にするなら①である。

(委員) 建て替えや改修のことがここにつながってくると思うので、①にした。

(委員) 「そろそろ」をとってはどうか。

(会長) 選択肢については、今の意見を基に、進めていきたい。

10 ページの運営について、大きなところである。

(委員) 委員の意見が必ずしも一致しているわけではなく、この答申にこれを盛り込むことは趣旨が違うので、答申に書き込むのは反対である。

(会長) この運営について、素通しでは収まらない委員もいる。簡単な説明だけでは、具体的な像は描けず、それは不安でもある。

(委員) 会長の見解として、こういう意見も強く出されたとして、出した方がいいのではないか。総意としてはなじまない。

(副会長) 図書館全体のこととして載せるべきだと思うが、会として話し合っているわけではない。「中央図書館ではこのような機能が必要であり、そのためにはこのような運営が望ましい」との書きの方がふさわ

しいという意見もあり、そのためにはこのような理由があると思う。(副会長作成の、図書館が直営であるべき理由を配付)

このような役割があるので、直営でやるべきである。運営そのものについては話し合っていないが、機能についてはきちんと書いて、直営で市が責任を持つべきと書き入れたい。

(会長) このあるべき理由を第三者が見た場合、果たして自治体が責任を持ってやれるのかと思うのではないか。

(委員) ここに書かれていることは賛成であるが、直営でなければできないのか、人件費もかかり官がすべてやるべきなのか、そのあたりは多様な意見があり得る。例えば他市の事例を検証し議論していれば書けるが、すべて直営でなければならないとは思っていない。

(会長) これだけのことを自治体がやれば保障されるということも、不安もあり、あえて原理原則にこだわり、そこまでという思いもある。

(委員) これから議論していくには、図書館に限らず官と民との間に、公がある。仮に民間委託しても完全に民営で利益主義ではなく、公が関与し、市民参画していくような形が望ましいと思う。直営ということばに引っかかる。もう少し、中間的な形態があると思う。

(委員) 官と民間委託との間を考えなければならない。市民協働性とは、中間のイメージを持つ。市民協働で解決していくということを強調していけばいいのではないか。(野林委員の意見、配付)

このような、抽象的な書き方にしてはいかがか。

(会長) 直営や民間委託の例についてまとめたものを、次回の定例会で勉強の糸口として委員に配付いただくと、今後の活動にも反映されていいのではないか。

(副会長) 新聞の記事には、委託で働く人が低賃金で安定性がないから次々やめて長続きしなく、見直しされているとある。

(委員) 全部直営でなければならないのか、一部を委託していくのか。このような趣旨を盛り込むのなら、引き続き市が責任をもって運営するといったことならいいが、直営ということばをわざわざ入れるというのはどうか。

(委員) そういうことを入れなければならない状況を、作りださなければ心配もない。直営ということばが気になるのなら、市の運営によってやる、ということばにしてもいい。

(委員) 直営に反対だとはいってなく、真剣に議論していないのだから、今回は書きこむ必要はないのではないか。会長からの意見書として付属として出されるのがいいのではないか。他の委員が全員直営で、というのであれば、意見を聞いていただければいいかと思う。

- (副会長) 欠席の委員の意見はいかがか。
- (会長) 特に入ってはいない。
- (委員) このことは時間がないといって封鎖されている。直営にはこだわらないが、それを意味することばで結ぶべきと考えている。
- (副会長) 確かにあまりここでは、議論してはいない。唐木田図書館も今までと同じ形で運営されると思っていたからである。記述として載せるべきと思う。
- (会長) 図書館の職員はどのように関心を持たれているのか。
(各職員の考え、意見)
- (事務局) 図書館は、直営でという姿勢はくずしていない。ただし、一部委託という手法は直営での管理という理解を得にくいので、きちんと伝えていきたい。
- (副会長) 唐木田図書館に関しては、図書館に常住する方は委託の方で、職員がいないので、トラブルがあったときすぐに対応できないといったマニュアルでは対応できないものがあると思う。図書館は人と人との仕事で、そこに職員がいなく間接的に伝わるということは、大きな問題だと思っている。
- (委員) 直営の概念、定義が図書館と委員の一部とは考え方が違う。解釈が違ふとなると、直営と答申に載せるのはどうか。職員のことについては、先ほど出た「職員の資質向上」というような別の柱にすべきのところに書かれている。当然、市の直営を意味しているのであり、最後に縛ることはないのではないか。
- (委員) 直営ということばを使っても、問題はない。ことばでは規定できないというのが実態であるが、ねらいという点では、直営ということばで示しておく必要がある。直営ということばがいやだということなら「市の責任運営」ということばを使って、書いておいたらどうか。
- (委員) 唐木田図書館は全面委託か。
- (事務局) 運営は市が行う、業務委託である。
- (副会長) 先ほど配付した私の意見の中で、100万冊の蔵書の説明についてつくってみた。
- (会長) それに関しては検討し、入れていくことでいかがか。
- (委員) 先ほどの直営の部分についても含め、会長、副会長にお任せし最終案をまとめていただき、基本的には一任したいが、いかがか。
- (会長) 了解した。終了する。